

【給食協会賞】日本の素晴らしい給食

明和小学校 瀬瀬 彩華

日本の給食はなぜ、とてもおいしいのだろうか。私は、六年間アメリカに住んでいました。アメリカでは、現地の小学校に毎日通っていました。

現地の学校では、給食を食べるか、家からお弁当を持ってきて食べるかを選べました。私は、給食を食べる日とお弁当を食べる日、両方ありました。だけど、私は給食があまり好きではありませんでした。現地の給食は、にんじんやブロッコリーなどの野菜を生で出すことがあります。何も調理されていなかったもので、とてもかたくて、まずくて、いつも残っていました。他にも、デザートに甘くないりんごを丸ごと一個や、野菜が一切入ってないピザやホットドッグなども出ました。

五年生の時に日本に帰国して、日本の学校に行った時、給食がとてもおいしくて、栄養のバランスがよく考えられていて、体に良い食材がたくさん入っていて、とてもおどろきました。他にも、季節の食材を使った献立が出たり、おいしいデザートも出て、本当に日本の給食はすごいと思いました。

日本の学校に通い始めたばかりのときは、学校生活に全然慣れることができなくて、学校に行きたくないと思う日が多かったですけれど、唯一学校で楽しみにしていたことは給食でした。

「学校の何が良かった？」
と母に聞かれた時に、

「給食がおいしかった！」
と私は言いました。

いつも学校の給食の献立を考えて、作ってくれている栄養士や調理師などに感謝します。これから、毎日献立を考えたり、給食を作ってくれている給食センターの方達への感謝を忘れずに、おいしい給食を食べたいです。